

令和2年度 前期学校評価報告

花園小学校では、保護者の皆様にご協力いただき、「子ども達の生活をよりよいものにするための自己評価」の調査を行います。今年度前期の調査は7月に実施いたしました。保護者の皆様の自己評価調査は96.2%という高い回収率となりました。ご協力ありがとうございました。

学校教育目標に照らし合わせ、アンケートの内容を「生活に関すること」「学習に関すること」の2つの視点で調査をしました。今年度より「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。

その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしたのでご報告いたします。

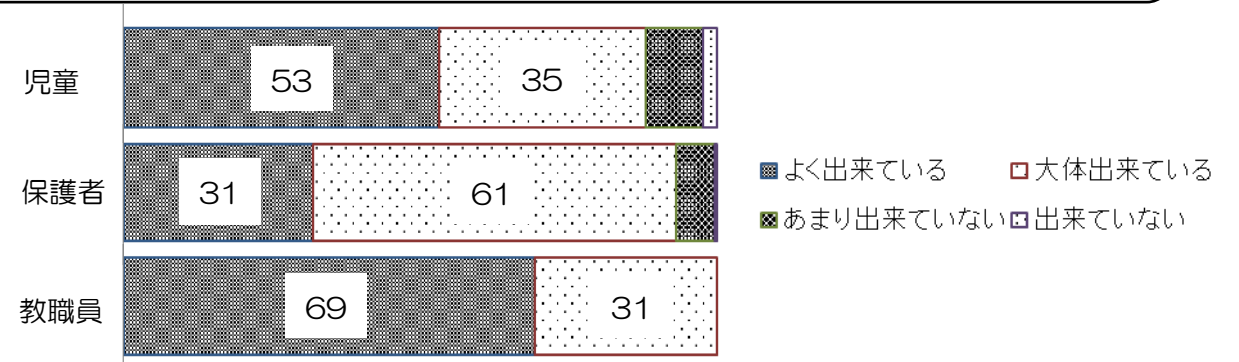
アンケート集計結果（数字は%）

子ども達の生活を よりよいものに 自らを振り返り、互いに高め合う			よくできている			だいたいできている			あまりできていない			できていない		
			児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	進んで挨拶をする	53	31	69	35	61	31	10	7	0	2	1	0
	2	先生に相談する	38	30	50	41	55	40	15	14	10	6	1	0
	3	自分のよいところが言える	32	29	50	37	61	40	18	10	10	13	0	0
	4	友達を大切にし、仲良くする	80	41	25	19	55	62	1	4	13	0	0	0
	5	忘れ物がない	41	22	13	45	64	87	13	14	0	1	0	0
	6	係や当番の仕事を最後までする	73	11	33	23	42	56	3	43	11	1	4	0
	7	後片付けできる	61	14	20	33	55	70	6	30	10	0	1	0
学習面	8	授業がよくわかる	61	32	25	34	59	62	3	9	13	2	0	0
	9	話を最後まできく	59	21	33	33	66	45	7	12	22	1	1	0
	10	進んで発表する	38	12	33	38	40	45	19	44	22	5	4	0
	11	家庭学習を進んでする	56	28	22	31	58	67	8	13	11	4	1	0
	12	本をよく読む	50	17	22	30	40	45	15	38	33	6	5	0
	13	花園小の地域が好き	70	8	13	23	36	25	6	49	62	1	7	0

1 自分から進んで挨拶ができている（児童）

わが子が自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている（保護者）

児童が自ら進んで挨拶をするように教職員自ら挨拶をしている（教職員）

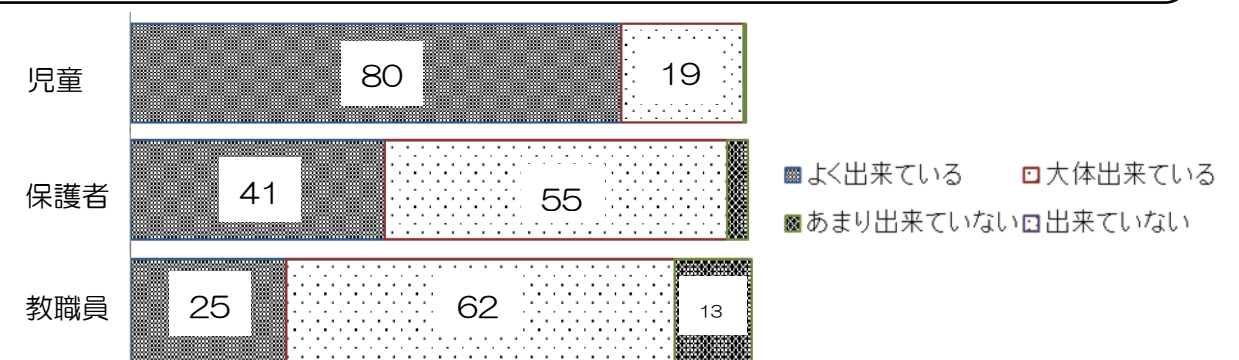


学校の目指す子ども像である「元気いっぱい 活動する子」。まずは気持ちのよい挨拶からみていきたいと思います。花園小学校の子ども達が進んで挨拶ができるように、保護者、教職員ともに子ども達へ働きかけていることがわかります。そのことが、子ども達が進んで挨拶することにつながっていると考えられます。「自分から進んで挨拶ができている」という問いかけに「よくできている」「だいたいできている」を合わせると、児童のおよそ88%が自分から進んで挨拶できていると答えています。今後も学校と保護者、そして地域の方とで協力しながら取り組んでいきたいと思います。

4 友達を大切にし、仲良くしている（児童）

わが家では、わが子が友達を大切にし、仲良くするように働きかけている（保護者）

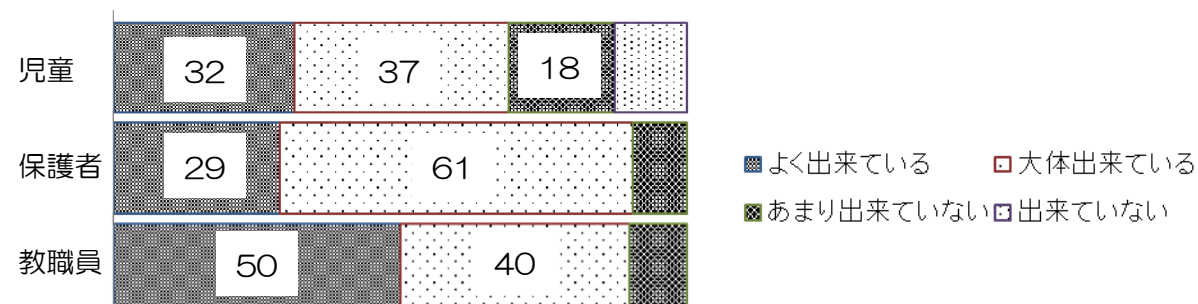
児童が友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる（教職員）



目指す子ども像「相手とよりよく関わり、主体的に学ぶ子」に関連する項目です。ほぼ100%の児童がおおむね友達を大切にし、仲良くしていると答えています。保護者も同様の結果となっています。教職員の13%が学級づくりがまだ十分ではないと感じていますので、これからも、一人一人の子ども達が輝く場であり、一人一人の子ども達が大切にされる場である学級・学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。

3 自分のよいところと言える（児童）

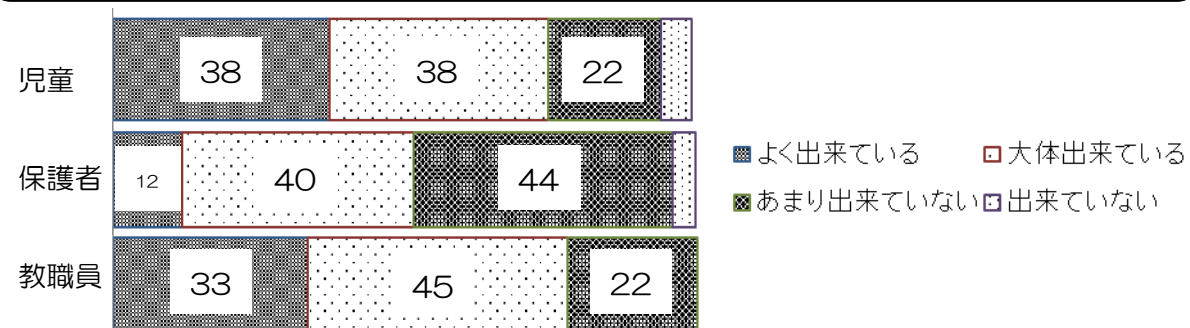
わが家では、子どものよさを認め、ほめるようにしている（保護者）
児童のよさを積極的に見つけ、認めほめている（教職員）



子ども達がいきいきと毎日を過ごすことにつながる「自己肯定感」についての質問です。保護者や教職員は積極的に子ども達のよさを認めていると感じていますが、児童はあまり自分のよさについてわからない・気づいていない場合があるのかもしれません。自己評価アンケートでは、18%の児童が自分のよいところをあまり言えないと回答しています。保護者の皆様と教職員とで、子ども達のよさについて、どのように伝えていくとより子ども達の心に響くのかについて、ともに考えていきたいと思います。

10 授業中、自分から進んで発表している（児童）

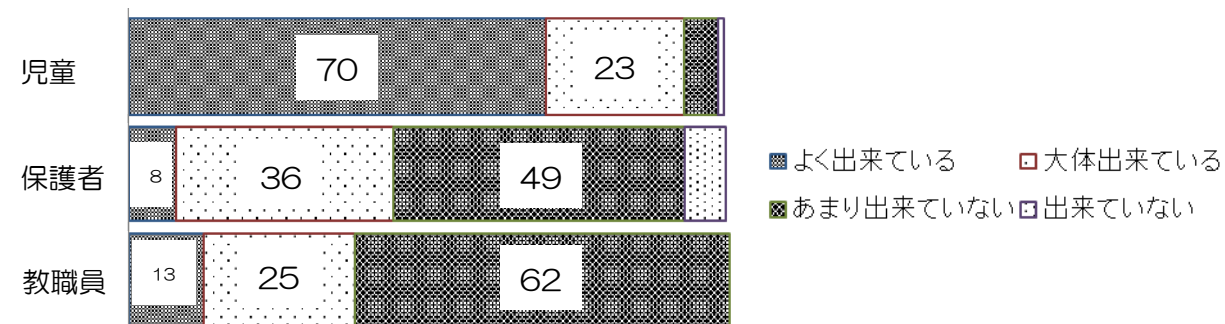
わが子に授業中、進んで発表するよう励ましている（保護者）
児童が授業中、進んで発表するよう働きかけている（教職員）



8の項目では、授業が（よく）わかると答えていても（児童95%）、子ども達は、授業の中で自分の考えや思いを進んで表現することが十分でないことが読み取れます。「あまりできていない」「できていない」を合わせると児童は24%、保護者は48%となります。自分の考えを表現することは、学習のみならず生活の中で大切な力につながります。教職員は子ども達が進んで発表するような働きかけを今後も引き続きすすめてまいりますので、保護者の皆様からも子ども達に自分の考えや思いを進んで表現するよう励ましてください。また、自分の思いを安心して出すことができる学級・学校づくりを教職員一同築いていきたいと考えておりますので、どうぞご協力をお願いします。

13 花園小の地域のことが好きである（児童）

家庭で花園小地域のよいところを話したり、ふれあったりする機会をもっている（保護者）
花園小の地域のよさを学べるような教材・単元づくりをしている（教職員）



「花園小の地域が好き」には、93%の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えていました。花園小の多くの子ども達は、地域のことを好きだと感じています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために休校等があったために例年とは少し変更等がありますが、学校では生活科や総合的な学習の時間などを通して、地域のよさや人々の思いに触れ、地域を愛し、地域とのつながりを深め、地域に対する誇りをもってほしいと願って今後も取組をすすめていきます。

保護者の皆様にはその他にご意見等を頂戴しました。特に新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる取組について多くのご意見を頂きました。現在、教育委員会が児童の学習用タブレットの配備準備をすすめています。詳細は決まり次第お知らせします。その他、学校全体の様子はもちろん、各学年の取組や活動の様子についてホームページ等を活用して今後できるだけ皆様にお伝えできるよう努めてまいります。ご協力をお願いします。

京都市立花園小学校

学校評価アンケート集計結果から

学校評価アンケートは、それぞれのお立場での自己評価を通して振り返ることで、それぞれすることが明確になり、子ども達の変容へとつながっていきます。今回のアンケートでは、質問によっては、学校教育目標の具現化に向けてまだまだ十分ではないものも見られました。

これからも家庭・地域との連携を大切にしながら一人一人の子どもを大切にする取組をすすめていきたいと考えています。今後ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様から頂いた学校評価アンケートをもとに、これからの学校運営に活かしていきます。そして、保護者・地域の皆様とのさらなる連携を深めて取り組んでいきたいと考えております。今回はアンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。